

お富岡小学校6年生のみなさん。  
はじめまして。無口な絵売り「たけ」です。  
今日はありがとうございます。

僕は25年前に富小を卒業して、阿南中学校、富岡西高校から京都産業大学に進み、  
以来ずっと京都で住んでいます。実家はここから見えるところですよ。

今日は、かわいい後輩のみんなの前で、講演をさせていただけること、大変楽しみにしていました。

今回は、僕が思う「宇宙一いい言葉 ありがとう」について、講演します。

「ありがとう」はすごいパワーがありますよ。  
それは後で言いますが、先に僕のことをちょっと言わせていただきますね。

さて、なぜ、僕が無口かと言えば、しゃべることが出来ないから無口なんです。

僕は脳梗塞の後遺症で、言語全般、話す、聞くことができないこと、書く、読むことが  
少し難しいこと、右手の麻痺していることなど、いろいろな障害をいただきました。

今、へたな絵に自分の言葉をそえて、人さまに売って生活をしています。  
自称「日本一無口の絵売り」です。

僕はしゃべることが出来ないから、代わりに、西田先生に原稿を読んでもらうこと、  
許してくださいね。

病気をする前の僕は、京都を中心に活動するバンド「たけかめ」で、歌とギターを担当して  
いました。そして、歌を歌うことに、ちょっとだけ自信がありました。

京都の繁華街、四条のライブハウスなどにレギュラー出演して、ライブ活動と自分で作った  
CDの売りあげも伸ばしていました。  
僕は、このまま一生、歌いつづけていくものだと思っていました。

それが5年前、2001年10月。突然、脳こうそくを発病。

ところが、ひとり暮らしだったので、倒れてから発見されるまでに、まる二日経っていました。  
一時は生死の境を、さまよったらしいのです。

そして、目覚めた時には、重い障害が残っていました。

後遺症は、失語症、聴覚障害、発音が困難になる構音障害、右手麻痺……。つまり、歌を歌うこと、音楽を聴くこと、ギターを弾く右手、僕の得意分野すべてを失ってしまった。

いままで音楽をやってきたものにとって、これほどの絶望があるでしょうか。神様は、僕にとってめちゃ大事なものを、わざわざ選んでもっていったみたい。

それは34年間生きてきて、はじめての絶望だった。発病当時、僕はほんとうに苦しかった。絶望。

「なぜ自分がこんなことに?? 声の出しかたがわからない。言葉を忘れてしまった。右半身が動かない」。

しかも、小便はチューブ、大便是オムツの中、排泄は人任せ、食事は鼻からチューブ。ベッドの上でぶざまな姿を見せるだけ。

34歳で、僕の人生は終わった。これ以上、生きたとしても、何ひとつ、いいことはないだろう。「もう死んだほうがまだ」と、繰り返し絶望が襲った……。

でも、深い絶望があったけど、

深い絶望があったけど、

僕は以前から「宇宙学」という精神世界の類を勉強していて、その中に、こんな言葉がありました。ちょっと難しいけど、

それは

天地に風雨あるが如く、  
人生また順逆を免れず、  
順にして驕らず、  
逆にして尚その逆たることを感謝し、  
己の生業に精励努力せよ。

必ず

天の導きあり、  
神の助あり

人生はいい時も悪い時がある。  
いいときに感謝することはあたり前  
うぬぼれなく、つらいときこそ感謝する。

すると神の助けがあるという意味です。

「ありがとう」を漢字に書いてください  
みんな、わかりますか？

## 「有難う」

ですね。

「難」が「有る」から「有難う」ですね。  
困難の時こそ「ありがとう」という意味ですね。

僕はこの障害に無理やり感謝しました。

言葉を忘れてしまったけど、「ありがとう」と思い続けました。  
オムツ姿やけど「ありがとう」と思い続けました。  
右手が動かないけど「ありがとう」と思い続けました。  
助かったことを後悔したけど、「ありがとう」と思い続けました。

「ありがとう」と毎日、毎日、思い続けました。

もちろん、最初は心が込もっていない感謝だったと思いますが…

とにかく「ありがとう」と毎日、毎日、思い続けました。

すると、発病してから二か月ほど経ったある日、

「絵でも描こう」となんとなく思い、安いスケッチ・ブックと筆を買いました。

残った左手で筆をもちました…

！！

まったく不思議だった。  
言葉はなかなか出てこないのに、筆ならスラスラと躍るように描ける。  
絵を描くことは小学生の図工の授業以来の僕なのに、なんと左手で絵を描けるんです。

この発見に感動して、僕は毎日毎日、絵の勉強本を見ながら、無邪気に絵を描いていました。絵を描くことが楽しい日課になって、絵は少しずつ、上手になっていきました。

言いたいことがあって、それを詩にして、その詩にあう絵を描くようになった。そう考えてみれば、絵を描くということは、曲を作るときと同じだったことに気づく。

歌とギターから言葉と筆にもち替え、ふたたび表現できることは、僕の生きる希望になった。

歌ができればライブのように人に聴かせたい。作品ができれば人に見てほしい。近い将来、路上で展示したいと思った。

そして、いつか絵で生活したい、と思うまでになっていました。

僕は、なにができる？

「喋ることはできない、耳も聞こえにくい、言葉もなかなか出ない、右手も使えない、心臓も弱い、仕事がない、金もない、住むところもない」  
「……ない」「……できない」のオンパレードだった。

失くしたものを数えたらきりがない。

でも、絵を描きはじめ、希望と夢をもった僕は、逆に「**できること**」を考えはじめていた。

「左手で絵が描けるし、足で歩いてどこへでも行ける」  
できることはかなり少ないけど、これで充分と思った。

僕は絵を描くことだけができる。ほかのことは、なんにもできない。  
そして常にいいイメージを心がけた。

すると、不思議と楽に、自分の将来のイメージができた。

しかも色付きでいいイメージが出てきた。

このように、後遺症に打ち勝つのでなく障害を受け入れながらも「できること」を考える前向きな考えが芽生えました。

そして、発病して半年後  
リハビリ病院に入院中なのに、京都の繁華街、四条で自作のポストカードを路上販売しはじめました。  
しゃべれないし、耳もきこえない、

言葉もわからないくせに、  
路上に座りました。

我ながらいい根性だったと思います…

アホでしょう（笑）

でも、これからの人生を開くチャンスが、きっとストリートにあるはずと思いました。  
マスコミの取材や、個展の話や、本の出版の話はストリートにあるはず、と  
強くイメージしていました。

そして、今、発病して5年が経ちました。

この5年の間、新聞やテレビ、雑誌などマスコミの取材が相次ぎ、2003年6月には  
フジテレビ『アンビリバボー』に出演し、同年の10月には『ほっこり生きよう』を出版し、  
全国での個展などを経て、プロの表現者になりました。

あの深い絶望の頃、

「天地に風雨あるが如く、人生また順逆を免れず、順にして驕らず、  
逆にして尚その逆たることを感謝し、  
己の生業に精励努力せよ。

必ず  
天の導きあり、  
神の助あり」

の言葉がなかったら、いまの僕はなかったと思う。

そして「ありがとう」のパワーを実感した5年間でした。

「有難う」という漢字を見たら、「難が有る」でしたね。  
今の苦しさも困ることも、実はありがたいと感謝することだった。

ピンチの時に「ありがとう」です。  
ピンチはチャンスですね。

最大のピンチは最大のチャンスですね。

ピンチの時でも、思いと言葉で運を変えることができる。

「ありがとう」はやっぱり宇宙一いい言葉ですね。

また、この「ありがとう」は不思議なパワーがあります。  
植物が生き生きするとか、病気が治るとか、波動がよくなるとか。

僕もちょっと実験しました。  
部屋にいるクワズイモです。



ある日、  
「ありがとう」「ありがとう」と言い続け、  
水をあげようと考えたのです。

ご存知の通り、しゃべれない僕は「ありがとう」「ありがとう」・・・と心の中で言い、  
時には口で「あ△◎※う」と言いつづけた。

言い続けたら、思い続けたら・・・すると

すると

「ありがとう」「ありがとう」と言い続け、水をあげたら、かわいい芽が3本出てきたのです。



このクワズイモはここ4年間くらい居るけど、  
芽が出たことは初めです。

これも「ありがとう」の効能かな～  
とてもかわいい奇跡がやってきた

さて、今は



## もう元気すぎっ！（笑）

そろそろ鉢替しようか～と思うくらい、生き活きと生きかえってます。  
やっぱり、「ありがとう」は宇宙一番ええ言葉やね！

「言葉の力」を実際に目にできる写真集があります。  
『水からの伝言』（江本勝 サンマーク出版）という写真集です。

「ありがとう」と「ばかやろう」  
書いた2つのペットボトルを準備して、  
水道水を入れて一晩置いた水を凍らせて、結晶を撮影する。

まずは「ありがとう」と書いた水道水。  
見てください



宝石のような美しい結晶が出来るのです。  
きれいやろ？

一方の「ばかやろう」と書かれたほうは  
見てください



かわいそうなくらい無残に変形します。

**同じ水**ですよ。

投げかける言葉によって、植物も水も変えるのをわかってくれたかな？

きれいな言葉を投げかけると結晶もきれいに  
汚い言葉を投げかけると、つぶれた醜い形になるな。

人間の体は70%は水と言われるけど、  
私たちの体でも、同じことがいえるのではないかな？

きれいな言葉、汚い言葉。  
この機会に、みんなに考えてほしいな。

きれいな言葉は  
「ありがとう、幸せ、うれしい、楽しい、大好き、愛してる、ついでいる」など

汚い言葉は  
「てめ〜！死ね！ばかやろ！くそー！不平不満、悪口」などです。

そういう汚い言葉を平気で使う人はそういう人生を歩くことになってしまう。  
考えてほしいな。

みんなはDSなど、ゲームが大好きな人も多いと思うけど、その最中、「死ね!」「くそ!」「ばか!」「あほか!」など汚い言葉を使って、怒ったりしてしまうときもあるんじゃないかな?

この怒りの汚い言葉は、実は、怖いもの。

これも実験ですけど、一升瓶の中にハエを一匹入れて、普段なんでもないときに息を吐き入れて密閉する。

だいたい30分くらいでハエは死にます。窒息死ですね。

ところが、同じように一升瓶の中にハエを一匹入れて、

今回は「ばかやろう!」などと怒っているときの息を吐き入れて密閉する。

ハエがどれくらいで死ぬと思いますか? 怒っている息なら、約3分ほどで死んでしまいます。

窒息死ではなくて毒死。

**毒死**ですよ。

私たちが怒っているときの息は、実はものすごい毒が発散されているのです。

いつもイライラして怒ってる人、汚い言葉を使う人は、周りの人に毒を発散してるし、その結果、毒によって自分の体も痛めていることになります。

ですから、自分にとっても、怒り、汚い言葉は「損」なんですよ。

私は10年以上宇宙の法則を研究して、

**「投げたものは自分に返ってくる」**ということがわかりました。

自分が発した言葉は、自らが受け取ることになる。

「ありがとう」をたくさん言っている人には、  
「ありがとう」と言いたくなるようなことが次から次へと起きてくることになります。

いい例はこの「たけ」です。  
毎日楽しく幸せでありがたく、「ありがとう」という言葉しか出てこないような人生ですよ。

自分が発した言葉は、自らが受け取ることになる。

## 「投げたものは自分に返ってくる」

ですから  
もし、みんなの中で、誰かをいじめている人がいたら、  
その結果は、自分への「損」になって返ってくるんですよ。

そのいじめていたことは、中学生の時かもしれない、高校生の時かもしれない、あるいは、  
社会に出たときかもしれない。けれど、必ず、自分に返ってくる。

そして自分にとっての「損」になります。怖いよね～？

また、逆に

もし、みんなの中に、いじめられている人がいたら、「ありがとう」と言い続けてください。

ピンチの時こそ「ありがとう」ですよ。

もし、体のある部分について、嫌なことを言われても、「ありがとう」と言い続けてください。  
きっと、その部分は素敵な個性となって、自分の味方になってくれます。

僕もそうでした。

「もう死んだほうがましだ」と思った障害も、  
今は**「おいしい」**と思う。

僕が街のストリートに出たら、  
『無口の絵売り』と、人は一発で覚えてくれる。  
マスコミも取材してくれる。

なにひとつ自己主張を言わず、  
いつもニコニコしている僕のことを、

**人は『いい人』と勘違いしている。**

「おいしい」でしょう？（笑）

欠点を長点に変えるとかってよくいうじゃないですか。  
自分が欠点と考えることも、**気持ちひとつ**だけで長点になる。

まさに僕の場合は、障害は個性になって、味方になりました。

## 「ありがとう」の一言で (^▽^)

さて「ありがとう」のパワーと「言葉」について述べましたが、  
次に「幸せ」について僕なりに述べます。

わざわざ私のところまで、悩みことを相談しに来てくれる方がたくさんいますが、  
その一人に、自分の不運を嘆き、

「〇〇さんはちゃんと働けるし、いいね」  
「〇〇さんはちゃんと彼氏がいるからいいね」  
「〇〇さんは温かい家庭でいいね」

など、他人の幸せを妬んでしまう人がいました。

僕の答えは  
「あなたは十分幸せですよ。気付かないだけよ」

それだけでした。

考えてほしい。

あなたの幸せは、

目が見えること

耳が聞けること

話をできること

手が動くこと

足を歩けること

呼吸ができること

心臓が動くこと

うんこもできること

その他、本が読める、文字が書けること、

紛争がない地域に暮らせる。

水、電気、ガスがある生活できる。

事故も起きず

大きい病気もせずに

何事も特別なことが起きず

今の幸せを数えたら、きっと数えきれない。

私達は宇宙からたくさんの幸せをもらっているのに、

「あれが足りない」

「これも気に入らない」

「あれをしてください」

「これをしてください」

「これをかなえてください」

「〇〇さんはいいな～」と不満・不平・文句・妬みを言っているのです。

普段から当たり前と思っていることが、  
実は、むちゃくちゃ幸せなこと。

なんでもないことがとてもありがたいこと。

私達は「これ以上何を欲しかっただろう？」

幸せとは手に入れるものでなく  
望むものでなく  
気付くものですな

さて、これでお話は終わりますが、  
僕の話は一つの情報と思ってください。

「正しい生き方をしよう」とか  
「立派な人になりましょう」とか  
「あなたの考えはだめ」とか、

僕はそんな話が好きではないんです。

「ありがとう」はすごいパワーがありますよ。とか  
「不満・不平、悪口など」汚い言葉は自分の体を痛めつける毒になりますよ。とか

一つの情報とと思ってください。

「ありがとう」とたくさん言ったら、いいことが起きる。

苦しい時があっても、がんばらなくても、いいんです。  
ピンチの時こそ「ありがとう」です。

感謝するくせをつければ、いいんです。

最後の締めくくりに  
今日は、「ありがとう」について僕なりに言わせてもらいました。

今日は何人来てくれたかな？（〇〇〇人）  
すごいですね。〇〇〇人ですね。ありがたいですね。

じゃあ、ね？

みなさんが10回「ありがとう」と言ったら、  
〇〇〇〇回の「ありがとう」に包まれたことになりますね？

ね？

せっかくの機会ですから、  
みんなで〇〇〇〇回の「ありがとう」の素敵なパワーを感じてもらって、  
今日の講演を終えたいと思います。

一斉に声に出して「ありがとう」を10回言ってみましょう。

いいですか？  
せーの！

ちょっと！ちょっとちょっと！  
待って。

せっかくの機会ですから、  
みなさんが思う「難」に「ありがとう」と10回言ってみましょう。

目を閉じて下さい。みんな、それぞれの自分の困難を考えてください。

病気、自分が嫌いなこと、苦手な人、怒られたこと、あなたに対しての悪口、ケンカしたこと、  
ふられた相手など、

今までの不平不満、愚痴と感じたことに「ありがとう」と10回言ってみましょう。

いいですか？

せーの！

「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」

「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」

今日はほんまにありがとうございました！